
開講科目名：財務諸表論研究 (4単位)
開設年次：1年 2年
開設学部：会計学研究科博士前期課程会計学専攻
担当者：脇田 良一

《授業の概要》

【授業の概要】

我が国の大学で講義されてきた「財務諸表論」を踏まえて、講義内容を構成します。
まず、企業会計の基本的な仕組みを説明し、理解してもらいます。大学院の授業ですから、平板に講義をするのではなく、できるだけ最近の会計事象を引用し、含まれている問題を探りつつ、進めたいと思います。「財務諸表論」という堅苦しい枠をはめることなく、企業会計の分野における問題意識を養うように、指導するつもりです。

【授業内容】

財務諸表の意義及び役立ち
財務諸表の作成と公表の制度
財務諸表作成の装置と流れ
財務諸表の体系
売上取引のサイクル
現金、預金、売上債権
仕入取引のサイクル
棚卸資産に係る会計処理
有価証券に係る会計処理
有形固定資産に係る会計処理
無形固定資産に係る会計処理
引当金会計に係る会計処理
偶発債務、資産除去債務
「純資産の部」に係る会計処理
財務諸表の注記と附属明細表の意義

【評価方法】

出席状況及びレポート提出により評価します。

《テキスト》

中央経済社編 会計法規集 最新版 中央経済社

《参考書》

桜井久勝著 財務会計講義 最新版 中央経済社
八田・橋本 共著 財務会計の基本を学ぶ 同文館出版